

2022年度新入生ガイダンス

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻

学務課大学院係

052-744-2431・2422・2440

5223（内線専用）

med@adm.nagoya-u.ac.jp

● 【重要】

COVID-19の影響により大学の対応は変化します。

連絡は機構メールアドレスとHPのお知らせを通して行いますので、必ず情報環境セットアップを行い、機構メールアドレスを確認できるようにして下さい。

例. tokai.taro.x9@s.mail.nagoya-u.ac.jp

提出物（期限厳守）

・学修計画書（シラバスP11）

4月21日（木）

・情報環境セットアップ まだの方は大至急！
必ず機構メールアドレスを確認できるようにして下さい。

・ベーシックトレーニング 春学期分申込締切 4月30日（土）

・EPIGEUM e-learningコース 速やかに受講（5月末頃まで）

COVID-19に感染／感染の可能性が高い場合、以下の①②両方に連絡して下さい。

①名大 保健管理室（東山キャンパス）電話052-789-3970 メール hokekan@htc.nagoya-u.ac.jp

②医学系研究科学生専用緊急連絡先 メール med-student-covid@adm.nagoya-u.ac.jp

機構メールアドレスについて

名大IDと一緒に機構メールアドレスが発行されます。

大学院学生に対する各種重要な通知および連絡は、各学生の機構メールアドレスへ送信します。

以下のいずれかを必ず行ってください。

- (1) ブラウザ上でメール送受信 Office365のサイト <https://www.office.com/>
機構アカウントでサインインしOutlook画面を開いてメール送受信
- (2) Outlook (PC版) を利用
- (3) Thunderbirdを利用

詳細は以下のURLで確認できます

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/thersmail/>

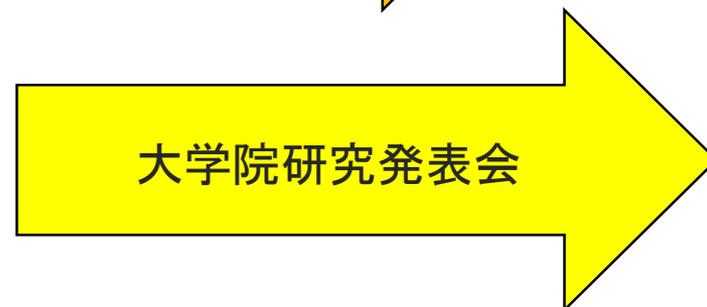
※機構メールアドレスは@medのメール（鶴舞のアドレス）ではありません！！

4月中旬から、各種重要な連絡が送信されますので、情報環境セットアップと併せて、すぐに上記手続き行ってください！！

博士課程 4年間全体のスケジュール



○原則、D3の3月末をめどに取得



○対象学生はD3・D4
年に2回 6月・11月実施（予定）



- 2022年4月に博士課程1年生として入学後、4年後の3月末（2026年3月末）で博士学位を取得して修了するために必要な要件は3つです。
- **1点目：合計30単位の修得**
- 社会人入学生であるか、基礎系の研究室に入学されたかにかかわらず、全ての博士課程の学生は30単位を修得する必要があります。
- **2点目：研究発表会**
- 大学院での研究活動を通じて論文を執筆し、3年生と4年生を対象として毎年2回、6月と11月に行われる**大学院研究発表会（学位予備審査会）**で発表をしてください。4年間の間に発表しない場合は、留年が確定します。
- **3点目：学位申請**
- 学位申請をしなければ、博士学位を取得せずに必要な単位を修得し「満期退学」をしたこととなります。4年生の12月末までには、必ず学位申請をしていただくということが修了の要件です。
- 学位申請の要件については一流の欧文誌からアクセプトを得る等の要件があります。詳しくはHPをご覧ください。
- 具体的な学位申請の方法については、年に数回、学位申請説明会を開催していますので3年生になられたときにご出席いただき、具体的な申請方法等の説明を聞いて下さい。
- まとめ：医学博士を4年間で取得するためには、①30単位を修得すること、②大学院研究発表会を行うこと、③一流の欧文誌からアクセプトを得た上で学位申請を行うこと、になります。

大学院の各種案内・手続きについては研究科ホームページを参照のこと。

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/



1. 医学系研究科を修了(満期退学)するのに必要な
単位数について

(1) 主科目	16単位	(選択必修科目)
〇〇〇〇セミナー	10単位	
〇〇〇〇実験研究	6単位	

※特徴あるプログラムを4コース以上にわたり合計20回以上受講しなければならない。

(2) 副科目	10単位以上	(選択必修科目)
---------	--------	----------

ただし、基礎医学領域科目を主科目とする者は、学生の所属する専門分野以外の専門分野が開講するセミナーを副科目とし、臨床医学領域科目を主科目とする者は、基礎医学領域科目又は統合医薬学領域科目を副科目とし、統合医薬学領域科目を主科目とする者は、基礎医学領域科目又は臨床医学領域科目を副科目とする。

(3) 基礎科目	4単位	(必修科目)
基盤医学特論	2単位	
基盤医科学実習	2単位	

以上、合計30単位以上必要です。

2. 副科目について

副科目として履修する科目については、指導教授または、その専門分野の教授と相談してください。

臨床医学領域科目を主科目とする者は、シラバスの「臨床医学領域専門分野に所属する大学院生の基礎医学領域・統合医薬学領域における研究について」を参照の上、「基礎医学領域・統合医薬学領域における研究指導計画書」を作成し、

4月21日(木)までに大学院係へ提出してください。

副科目の履修条件

		主 科 目		
		基礎医学領域	臨床医薬学領域	統合医薬学領域
副科目	基礎医学領域	○	○	○
	臨床医学領域	○	×	○
	統合医薬学領域	○	○	×

3. 特徴あるプログラムについて

1. CIBoG産官学連携戦略プログラム
2. 医薬統合プログラム(医学統計学を含む)
3. ニューロサイエンスコース
4. キャンサーサイエンスコース
5. がんプロフェッショナル養成基盤推進プログラム
6. On the jobトレーニングプログラム
7. トランスレーショナルリサーチコース
8. 医学英語プログラム
9. CIBoG医療行政プログラム
10. CIBoG/AI-MAILsオミクス解析学プログラム
11. CIBoG/AI-MAILs生命医療データ学プログラム
12. CIBoG/AI-MAILs メディカルAIプログラム
13. CIBoG生命医科学基礎プログラム(医学未修者向け)

4コース以上にわたり、
合計20回以上受講して
ください。

6. On the jobトレーニングプログラム、8. 医学英語プログラム、9. CIBoG医療行政プログラム 以外は事前の申込は不要です。

各自の都合の良い講義を随時受講してください。

受講すると「**特徴あるプログラム履修票**」に受講確認として押印されます。

3年終了時までに大学院係に必ず提出してください。

履修票に年月日の記入および実施講座の長の印がない場合には、無効となります。(オンライン実施の場合は印は不要)

実施予定は随時HP上で更新されます。

https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/class/tokupro/



「主科目」について

主科目の内訳は「セミナー10単位」、「実験研究6単位」、合計16単位です。

- 主科目については、ご自身が入学された専門分野のセミナーおよび実験研究が主科目になります。
- 主科目は、ご自身の所属されている研究室での研究活動・実験・カンファレンスへの参加等、4年間を通じて行った研究活動に対して、修了・満期退学前に指導教授から単位として認定していただくものです。

● 主科目の前提条件である

「特徴あるプログラムについて」

- ※特徴あるプログラム自身に、単位は付与されませんが、この特徴あるプログラムを終了しないと、16単位の主科目が認定されないということになっていきますのでご注意ください。
- 特徴あるプログラムは年間を通じ、1コースについておよそ5から15の講演が、当該プログラムの趣旨に沿って開催されます。
- 履修方法は、「On the job」、「医学英語」、「CIBoG医療行政プログラム」は事前の予約が必要ですが、それ以外は予約や事前の履修手続きは不要。日程表を確認の上、ご自身の予定に照らして都合に合うものを選んでご受講下さい。
- 4月11日～13日に学生証と一緒にお渡しする「特徴あるプログラム履修票」という薄黄色のカードを必ず携帯し、講義の実施責任者から、印鑑をもらい、その印鑑を集めるという形で履修を進めていただきます。
- このカードは、入学時点から20回の受講が終わるまで同じカードをご使用いただきます。
- 20回の受講が終わったあとに、大学院係へご提出いただき、教育委員会での認定が下りますと、主科目の前提条件としての特徴あるプログラムの履修は完了ということになります。
- 13種類のコースがありますが、必ず、4種類以上のコースで20回以上受講するようにしてください。
- 3年間で20回以上履修いただくようお願いいたします。
- このカードの提出後、大学院係にて、全てのコースの開催日と実施責任者の印鑑を確認しています。
- 万が一日付の記入がない場合は、印鑑があっても、履修を認定することはできませんのでご注意ください。
- 特徴あるプログラム履修票への印鑑は、特徴あるプログラムの講義でしか押していただくことが出来ません（印鑑はオンラインでの場合を除く）。
- 名城大学で土日に開講される講義を受講し、特徴あるプログラムへ読み替える制度もありますが、2022年度春学期の名城大学の派遣は行いません。

● 「副科目」について

副科目の内訳は「セミナー10単位以上」です。

- 入学された方全て、ご自身の主科目に応じて、副指導教員からの研究指導を受けますが、この副指導教員は、全ての博士課程の学生が、入学後1ヶ月以内に決定することになっています。
- 副科目の選択方法
 - 主科目が基礎系→ 基礎医学領域、臨床医学領域、統合医薬学領域いずれからでも選択できます。
 - 主科目が臨床系→ 副科目に臨床医学領域の科目を選択することはできません。
基礎医学領域または統合医薬学領域を選択して下さい。
 - 主科目が統合医薬学領域 → 基礎医学領域または臨床医学領域を選択して下さい。
- 登録方法：学習計画書による提出（**提出締切：4月21日厳守**）
- ご自身の指導教授、こちらはご自身の専門分野の教授になります、および、副科目の副指導教授のサインと印鑑をいただき、学務課大学院係へご提出下さい。
- 新入生の方は全員ご提出いただくことになります。
- ※主科目が臨床系の方シラバスP15の「臨床医学領域専門分野を専攻する学生の基礎医学領域・統合医薬学領域専門分野における研究指導計画書」を合わせて提出して下さい。
- どのような研究を行うのかについて、副指導教授を引き受けていただく先生とよくご相談いただいて、ご自身の研究テーマを基礎の側面等から設定していただきご記入下さい。

4. 基礎科目の履修について

(1) 「基盤医学特論 2単位」について

各専門分野が基盤医学特論用に開講する講義を、15回以上受講してください。

どの専門分野を受講しても構いません。

受講すると「基盤医学特論履修票」に受講確認として押印されます。原則として、2年以内に**15回以上**受講し、履修票を速やかに大学院係へ提出してください。**履修票に年月日の記入および実施講座の長の印がない場合には、無効となります（印はオンラインの場合を除く）。**

※15回以上の中にPremium Lectureを1回以上含むようにしてください。

実施日及び講義内容について

○「医学系研究科 基盤医学特論専用Google カレンダー」を参照ください。

設定方法は別紙を参照のこと。

○HPにも掲載しています。（HPトップ→大学院教育→授業案内「基盤医学特論」）

○**原則として事前の申込は不要です。**

各自の都合の良い講義を随時受講してください。

（講義によっては事前登録が必要です。
開講通知を必ず確認して下さい。）



https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/class/tokuron/

(2) 「基盤医科学実習 2単位」について

各コースの履修については、HPを参照してください。（HPトップ→大学院教育→授業案内「ベーシクトレーニング」）

春学期分申込期間：毎年4月1日～4月30日

秋学期分申込期間：毎年8月1日～8月31日

○1コース0.5単位

○最低4コースの履修が必要

○MD・PhDコースの学生向けにスーパー
トレーニングコースを実施しています

○**同じコースの2回以上の履修は単位認定されませんのでご留意下さい。**

○日時や場所の変更、受講者調整などは研究科HPにより連絡しますので、必ずHPで確認してください（HPトップ→大学院教育→授業案内「ベーシクトレーニング」）。

○各コース履修後は、必ず、ウェブアンケートを実施してください。



https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/class/basic-training/

「基礎科目」について

基礎科目の内訳は「基盤医学特論2単位」と「基盤医科学実習2単位」です。

「基盤医学特論2単位」について（補足資料1ページをご覧ください）

- 基盤医学特論は、特徴あるプログラムと非常に開講形式が似ているものになります。
- 各専門分野の先生方が、基盤医学特論用に開講する講義を15回以上履修いただくことになります。
- この15回は1年間でというものではなく、原則、入学から2年以内に15回以上受講して下さい。
- 学生証と一緒にお渡しする「基盤医学特論履修カード」というオレンジ色の小さいカードを必ず携帯し、講義の実施責任者から、印鑑をもらい、その印鑑を集めるという形で履修を進めていただきます。
- 講義の案内が、医学系研究科のHPに一ヶ月ごとに掲載されています。
- ご自分の都合の合う時間帯に開講されている講義に参加し、講演後に実施責任者の印鑑を頂き、押印を15個以上、2年間で集めて大学院係へ提出して下さい。
- 15回の出席の内、1回以上はプレミアムレクチャーの出席が必要です。特論履修カード右下にプレミアムレクチャー用のスタンプ押印欄がありますので、プレミアムレクチャーを受けられた際はそちらに押印をもらうようにして下さい。
- Googleカレンダーの方を同期していただくと、突然、講演が中止になりましたとか、場所が変わりました、というようなお知らせも、そちらの方に可能な限り速やかに反映させるようにしておりますので、積極的にご活用いただければと思います（補足資料2ページ）。
- 特論とは別に、特徴あるプログラム開講情報についてもこのGoogleカレンダーよりご確認いただくことができます。

● 「基礎科目」について

基礎科目の内訳は「基盤医学特論2単位」と「基盤医科学実習2単位」です。

「基盤医科学実習2単位」について（補足資料3、4ページ）

- 基盤医科学実習（通称ベーシクトレーニング）は、事前の申請が必要になる授業科目です。
- 1コースあたり0.5単位として認定され、4年間で最低4コースの履修が必要です。

※同じコース（年度ごとにコースNoは変わりますが、同じ担当教員、同じ内容のコース）を何度受けても、認定を受けられるのは、先に受けた0.5単位分のみです。

- この基盤医科学実習、通称ベーシクトレーニングは実習形式の授業です。実習形式のため、それぞれのコースを実際に担当される教員の研究室へ実習を受けに行くという形式がほとんどです。
- ベーシクトレーニングはWebで履修申請し、履修後のアンケート解答もWebで行っていただきます。毎学期ごとに履修登録期間が1ヶ月間あり、春学期分は4月、秋学期分は8月に申請をしていただきます。
- 年間約70コース程度の授業が開講されますが、一学期に申し込めるコースは最大4コースまでです。申込みの際には、希望コースごとに受講希望理由の記入が必須です。各コースは受講者制限があり、申込後に受講調整が行われます。申し込みには名大IDとパスワードが必要です。また、学外のLANを使用して申し込む際はVPN接続が必要です。

※VPN接続方法はベーシクトレーニング申し込みページ（【重要】2022年度 基盤医科学実習申込について／【Important】Registration for Basic Training Course in 2022）に記載がございます。

- 受講調整結果は、各担当教員より結果が出たものから順次全学メールアドレスと各コースのHPにて周知します。
- **情報セキュリティ研修等をまずは実施していただかないと、学内での各種ネット接続や全学メールアドレスが使用できませんのでご注意ください。**
- 各コースの詳しい資料はHPの「【重要】2022年度 基盤医科学実習申込について」というページの下段にあるベーシクトレーニングシラバスというPDFをダウンロードして確認してください。

(注意) オンラインで実施される「特徴あるプログラム」と「基盤医学特論」の受講方法について

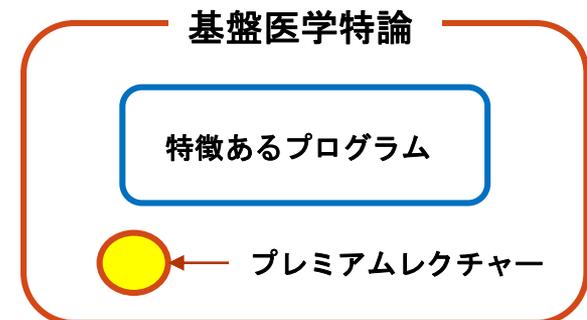
- ・一部の講義はオンラインで実施します。

開講日の前週金曜日に大学院係から機構メールあて「【med-all通知 (Coming Week 's Lectures)】TKR&TPRO 特論/特プロ開講通知」にてURL等をお知らせします。

【出席確認方法について】

(オンラインでの受講の場合のみ。対面の場合は印鑑をもらってください。)

- 「特徴あるプログラム」と「基盤医学特論」のプレミアムレクチャー
Zoomでの受講後に、NUCTへの小テスト回答により出席を確認します。
補足資料7ページからを確認して下さい。
カードへは受講日と「Zoom」等、オンラインで記載したことが分かる旨の記載をして下さい。
- 「基盤医学特論」(プレミアムレクチャーを除く)
実施する講座により出席確認方法が異なります。
授業中でのアナウンスに従って下さい。



5. 倫理教育について

(1) 研究コンプライアンスプログラム【医学系研究科へ入学された方全員必須】

このプログラムは、医学系研究者に求められる研究倫理に関してのリテラシーを養成し、人を対象とする臨床研究の研究計画や研究マネジメントで高い次元での貢献する能力を育成することを目指します。

2部から構成されます。

第1部は、臨床研究の倫理に関する事項を扱います。2014年、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針が策定され、また2015年、名古屋大学医学部附属病院が臨床研究中核病院として承認され、臨床研究における倫理がますます重要になっています。MD以外の学生にとっても生命倫理は必修のリテラシーです。

第2部は、研究不正の防止に関する事項を取り上げます。研究に関する不祥事が度々報道され、研究者に対する国民の信頼が損なわれており、研究不正の防止は、喫緊の課題となっています。

単位認定はありませんが、本プログラム未受講の場合は、学位申請ができません。

※2022年度特別措置

2022年度については講義形式のプログラムではなく、eAPRINというeラーニングをもって研究コンプライアンスプログラムに代替します。

2022年4月または5月上旬に機構メールアドレスに受講方法を通知します。

(2) Epigeum-eラーニングコース【名古屋大学へ入学された方全員必須】

(補足資料P5-6)

このプログラムは、文部科学省が定める「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に対応して、学生に対する研究倫理教育を実施するものです。

2021年4月または5月上旬に機構メールアドレスに受講通知

各自でe-learningを受講し、確認テストで80点以上を取ることで受講済み。

6. 大学院研究発表会について

(修了または満期退学するための必修要件)

課程博士の学位予備審査会であり、学位の研究について広く討論できる機会を提供し、大学における研究の発展を図るとともに、大学院在学中の研究活動の活性化と大学院教育の充実を目指すものです。6月と11月の年2回開催しますので、修了または満期退学を予定している者は、必ず発表を行って下さい。

対象学年：D3・D4

7. 学位申請について

大学院研究発表会後に大学院係で、申請手続きを別途行ってください。

学位申請に関しては、下記サイトを参考にしてください。

(トップページ→大学院教育→
学位申請手続→課程博士)



https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/graduate/apply/degree/

提出物 (期限厳守) 学修計画書 4月21日 (木)

情報環境セットアップ すぐに実施

ベーシックトレーニング 春学期分申込締切 4月30日

EPIGEUM e-learningコース 速やかに受講 (5月末頃まで)

- 「健康診断」について

- 附属病院で医員の身分をお持ちの方

- 7月の健康診断を鶴舞で受診いただきます。（変更の可能性あり）

- 社会人大学院生で名大附属病院以外で勤務の方

- 2022年1月から2022年12月中に職場で受けた健康診断結果を2023年1月までにご提出下さい。

- 医員の身分をおもちでない大学院生の身分のみの方

- 東山地区保健管理室での健康診断を必ずご受診ください。

健康診断にはWEB登録が必要になりました。

WEBで予約の上、検診受付票を必ずプリントorダウンロードして、学生証とともに持参してください。